



健やかな成長のために大切です

感染症を防ぐ 予防接種

■問い合わせ 子ども未来課 ☎ 23-3222

子どもがかかりやすい病気の中で、もっとも多いのが感染症です。身の周りに存在する病気のもとになるウイルスや細菌などの病原体が体内に侵入して増殖し、発熱や下痢、せき等を引き起こします。中には、命にかかわるものや後遺症を残すものが多くあります。

感染症を予防するための有効な手段の一つが予防接種です。ワクチン接種により、病気の発症や重症化を防ぐだけでなく、集団の中に感染患者が出ても流行を止めることができます。

予防接種には次の二種類があります。接種には市の支援制度がありますので併せてご活用ください。

①任意接種

市では、任意接種である「おたふくかぜ予防接種」を1歳以上就学前のお子さんを対象に、2回分の接種費用を無料にしています。詳しくは市ホームページをご覧ください。子ども未来課まで問い合わせください。

②定期接種

市内の協力医療機関で実施します（BCGのみ集団接種）。医療機関に事前に予約をして、お出かけください。



▲市が実施する小児定期予防接種は、安来市民であれば無料で受けることができます。

予防接種の種類	対象年齢	接種回数	接種場所
① BCG	生後5か月以上1歳未満	1回	健康福祉センター
②ヒブ感染症	生後2か月以上5歳未満	4回（※）	委託医療機関
③小児の肺炎球菌			
④ B型肝炎	生後2か月以上1歳未満	3回	
⑤四種混合 (百日せき・破傷風・ジフテリア・不活化ポリオ)	生後3か月以上7歳6か月未満	4回	
⑥麻しん風しん混合	第1期：1歳以上2歳未満	1回	
	第2期：5歳以上7歳未満の保育所・幼稚園等の年長児	1回	
⑦水痘（みずぼうそう）	1歳以上3歳未満	2回	
⑧日本脳炎	第1期：生後6か月以上7歳6か月未満	3回	
	第2期：9歳以上13歳未満	1回	
⑨二種混合 (破傷風・ジフテリア)	11歳以上13歳未満	1回	
⑩子宮頸がん予防	小学6年生から高校1年生の年齢に該当する女子 ※現在、積極的な勧奨は行っていません。	3回	

※②③の接種回数は、接種開始月齢により異なります。